

フットサル大会)は62年からですし、みんなの運動会も63年の3月から始まりました。

**小林** 住区ができたおかげで、それまで、町会の範囲が複数にまたがっていたので活動がやりにくかったんですが、小学校単位の住区ができてやりやすくなった面もありました。



小林 雅子

**岡田** 区からの住区と町会への重なった要望なども調整とかできるよになり無駄がなくなりました。それから、当時は、サービス事務所との連携もとても良かったと思います。所長さんが住区の常任委員会にいつも出席してくれて、アドバイスをもらいました。行事があるごとにサービス事務所が大勢で手伝ってくれましたし、住区の区役所への要望もすぐに対処してくれていました。今からはちょっと想像できないでしょうけれど。

**小杉** サービス事務所とのつながりと言えば、目黒区が住みよいまちづくりの指針にするということで、八雲住区のコミュニティーカルテづくりなどでも随分話し合いました。62年の11月頃から専門部会を中心に、道路・交通・都立大学跡地利用、そして防災などもあったと思います。2年ほど話し合っ、平成2年の1月頃にまとめができたと思います。

**岡田** 忘れてはいけないのは、広報のことだと思いますよ。拠点となるセンターがない中で、地域の方々のきずなとなったのが「やくも住区だより」だったんです。行事だけでなく、60年の洪水や大学の跡地利用、放置自転車のこと、そして住区の取り組みや出来事を記事にして、隔月でよく発行してくれました。

**太田** それは、おそらく設立前からの5年にわたる広報部会の下地があったからではないでしょうか。現在の広報誌も、その点をよく継承してくれていると思います。

## 住区センター建設について

**司会** 住区センターの完成は、平成10年(1998年)2月25日でしたね。目黒区の住区センターのなかでは、一番最後ですが、どうして遅くなったんですか。

**岡田** 本当は、住区住民会議が出来る時に、住区センターもあわせて完成されてなければならなかったんです。

**住友** 皆さんが集まりやすい適当な場所がなかったのです。場所があればもっと早くできていたんですが……。

**岡田** あのころは、目黒区が5点セットにこだわったので、土地が広くないといけなかったんです。その後、現在の場所に決まり、建設することになりました。

(5点セットとは、住区会議室・児童館・学童保育クラブ・老人いこいの家・住区サービス事務所をいいます。)

**司会** センター建設は、どのように進んでいったんですか。

**小林** 住区センター自体が、どんなものか分かりませんでしたので、建設委員会をつくり、他住区の施設を頻繁に見学に参りました。

### 住区センター建設に向けて



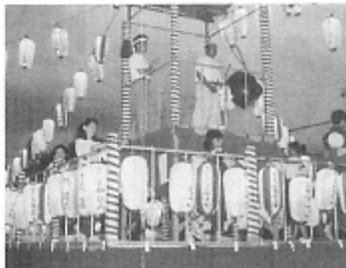
平成5年(1993)8月19日

平成5年建設地がようやく決まり、施設建設委員会を設置。他の住区センターの見学が始まった。(鳥森住区センターにて)



写真で見る歩み

### 八雲の夏まつりが始まった



平成8年(1996)8月24日

住区まつりを発展させて実施した。六百張の提灯には地域の人々の思いが詰まっている。